

過去の成果発表

(第3期中長期目標期間：H28年度～R3年度)

発表年月日	所属	テーマ名
H28.6.29	東濃	断層運動で損傷した岩盤の自己修復機能を確認
H28.8.31	東濃	花崗岩の主要な構成鉱物中に物質を閉じ込める微小空隙の存在を確認
H28.12.9	東濃	亀裂から出る高水圧の湧水を抑制する技術を開発
H29.7.7	東濃	坑道閉鎖環境において物質の移動を抑制する現象を解明
H29.9.9	東濃	光合成由来のエネルギー源に依存しない地底生態系の解明に成功
H29.10.13	幌延	湧水対策が困難な地質構造を地上から把握する方法を開発 ー火山灰層起源の粘土質せん断帯の検出・追跡に世界で初めて成功ー
H30.5.18	幌延	地下深くの亀裂の連結性を地上から評価する方法を開発 ー地層処分の候補地選定に係わる調査技術に大きな進展ー
H30.11.30	東濃	国内初、炭酸塩鉱物の微小領域の年代測定手法を開発 ー過去の地下水環境の変遷の推定に有効な“地下水の化石”の局所分析技術ー
H30.12.12	東濃	結晶質岩(花崗岩)内の割れ目評価のための新知見 ～マグマ溜りから深成岩が形成される過程の熱進化モデルの構築～
H31.3.29	東濃	いつ山は高くなったのか？ 山地形成過程の解明に新たなアプローチ ー大量の鉱物粒子の迅速な元素分析を可能にする高速定量分析技術の開発ー
H31.4.12	東濃	花崗岩内の物質移動経路に関する新知見 ～斜長石の熱水変質で生じる微小孔の役割と物質移動の解明～
R1.11.15	東濃	マグマ由来の流体による微小な割れ目網が地下水の流路に ー世界初、白亜紀の花崗岩中に超臨界流体の痕跡を発見ー
R2.3.27	幌延	地下水から遊離したメタンガスが大気の侵入を抑制 ー坑道周辺の岩盤が掘削後も還元状態にあるメカニズムを解明ー
R2.9.15	幌延	汎用的な装置で地下の岩石の割れ目をずらすことに世界で初めて成功 ー様々な地下利用に向けて大きく進展ー
R2.11.5	東濃	ジルコンの結晶化年代・温度を推定する新たな分析手法の構築 ～温度時間履歴が導く深成岩の冷却過程や隆起過程の調査・評価技術の高度化～
R3.11.4	東濃	津波防災に貢献できる津波堆積物の特定方法を提案 ～静岡平野の津波堆積物の化学的特徴を確認～
R3.11.18	東濃	レーザーを用いた局所分析による岩石・鉱物の年代学的研究
R3.12.6	幌延	地下深部の割れ目の水の流れやすさに関わる法則性を発見 ー地層処分における地下調査の効率性の向上などに役立つ新知見ー
R3.12.15	東海	地下深くの岩盤中の放射性物質の動きをより正確に推定する手法を構築 ～地層処分の安全評価の信頼性向上に貢献～
R4.2.10	東濃	津波による堆積物を特定する手法の適用範囲をさらに拡大 ～江戸時代の津波の痕跡を宮崎平野で識別することに成功、津波防災へ貢献できる手法として期待～